2017年（平成29年）
11月14日
（第三種郵便物認可 昭和23年4月15日）
（毎週火曜日発行）

今号の特集
▷和酒・洋酒特集 ④～⑥面
▷ペットフード特集 ⑧～⑨面
▷アレルゲン対策商品特集 ⑩～⑬面

tabete
国分グループ本社株式会社
http://www.kokubu.co.jp/

第3269号
発行所
中部飲食料新聞社
名古屋市中村区名駅5－18－9
電話（052）571－7116代表
FAX（052）571－7118
東京支局
東京都中央区日本橋横山町1-4 203
電話（03）5614－7531
FAX（03）5614－7532

中部飲食料新聞

量販店動向10月
台風の影響受ける
20日締め、末日締めで差

量販企業の10月の売上は台風の影響を大きく受けることとなった。

台風21号は超大型の勢力を維持し日本に接近、23日には静岡に上陸した。東海エリアでは21日の土曜日、22日の日曜日に台風の影響を強く受け、特に量販店への客足が鈍った。雨天時は屋根のある立体駐車場や地下駐車場のある店舗に集中するが、台風で外出自体が控えられてしまった。また、10月22日の日曜日は衆議院総選挙が行われ、以前であれば〝投票の帰りに買物〟とした動きが見られたが、あまりにも雨風が強く、投票をしても〝ついで〟で買物ができる状況ではなかった。なお、イオンではインターネットなどで「台風が来たときはコロッケを食べよう（通称＝台風コロッケ）」とした動きが見られることから本社主導でPRに努めるとともに、惣菜売場でコロッケを増産したり、POPを掲出したことで前年の1.5倍ほどの売上増となった。従来の台風への備えは即席麺やレトルトカレーなど保存性・簡便性に優れる商品であったが、コロッケが加わるか注目したい。

台風22号は翌週の週末の28～29日に日本に接近し雨風をもたらし、やはり週末の客足に大きな影響をもたらした。

2週続けて週末に台風の影響を受けたことで、10月の量販店の業績は非常に厳しい。ただし、20日締めの企業は台風の影響が大きい21日以前であるため、10月度の業績に表れていない。

量販店10月度実績（既存店ベース）

（20日締め企業）	売上	来店客数	客単価
ユニー	100.4%	99.0%	101.4%
オークワ	98.9%	97.6%	101.4%
（末日締め企業）			
パロー	96.1%	94.9%	101.3%
マックスバリュ東海	96.7%	95.2%	101.6%

秋の勲章・褒章
盛田宏氏、堀富士夫氏ら受章

政府は秋の勲章及び褒章受章者を発表した。食品分野での主な受賞者は次の通り。

秋勲章（一部掲載、50音順、敬称略）

（旭日重光章）▽服部郁弘（元全国漁業協同組合連合会代表理事会長）

（旭日中綬章）▽坪井明治（全国商店街振興組合連合会理事長）▽藤重貞慶（元ライオン社長）

（旭日小綬章）▽飯島茂彰（元全国ビスケット協会会長）▽堤俊彦（大垣商工会議所会頭）▽永井良和（全国水産物商業協同組合連合会会長）▽福原康彦（元ハム・ソーセージ工業協同組合理事長）

（旭日双光章）▽朝比奈明夫（元全国茶商工業協同組合連合会理事）▽西川三朗（元日本外食品卸協会副会長）▽前田卓巳（元愛知県茶業連合会会長）

秋褒章（同）

（藍綬褒章）▽堀富士夫（元日本物産業協会会長）▽盛田宏（全国卸売酒販組合中央会副会長）

日本昆布協会 臨時総会を開催

日本昆布協会は10月30日に大阪市内で「平成29年度臨時総会」昆布大使との懇談会」を開催し、会員等90名が参加した。

会の冒頭、大西智明会長（西兵庫社長）が「今年度の昆布供給は、北海道産が2年連続の大減産となる1万4千tを下回る可能性も言われる。道南・日高・釧路・根室・利尻の各地とも不作で状況は厳しく値決めや入札価格の高騰が見られる。北海道では来年に向けて増産への取組みを進めており協力していきたい。輸入昆布も今年度から必要とする会員企業へ配分する体制に変わった。韓国産及び中国産とも価格は約5%の上昇となり現在、供給が進んでいる」と挨拶。その後各議案が審議され承認された。入札会ではシーズン突入となって活発な商談が見られた。

総会後の昆布大使との懇談会では、一般消費者の視点に立った昆布大使から昆布業界に対する要望や意見が出された。

明治「ザ・チョコレート」国際的な評価を得る

明治の発売する「明治ザ・チョコレート」が、フランスのチョコ愛好家クラブ「クラブ・デ・クロークル・ド・ショコラ」（以下CCC）から「デザイン賞」を受賞した。

CCCは限定されたチョコレート好きだけが会員となるチョコレート好きだけが会で最も高い権威を持つ愛好家クラブで、〝チョコレートのミシュランガイド〟とも称されるガイドブックを発行している。毎年、「サロン・デュ・ショコラパリ」開催に合わせ様々なショコラティエを表彰し賞を贈るチョコレート・アワードを実施。今年よりデザインも表彰され、新設されたデザインアワードの賞を受賞した。

なお、11月20日には受賞したチョコレートを一堂に集めた試食会がパリで行われ、岡品が本場のチョコレート愛好家に披露される。

丸美屋「おもち亭 おもちとからめて」〈もち売場〉など関連販売も有効

丸美屋食品工業は、本品の直火焙煎白ごまと甘辛みそそのの「ごまみそだれの素」、黒みつ風味の「黒みつ風味きなこもちの素」、コク深い焦がし醤油風味の「みたらしもちの素」、直火焙煎黒ごま使用の「黒ごまだれの素」、石臼挽き抹茶使用の「抹茶あんの素」を発売。シニア層を中心に手軽で簡単にお餅の楽しみ方が広がる商品として、また本格シーズンでの需要喚起や手作りニーズに対応する商品として育成に努める。さらに餅売場でのメニュー提案型の関連販売などは大きなシナジーが期待される。

街角経済
ボーナス増の食品

回復が遅いと言われてきた個人消費は秋以降盛んとなっている。そして財務省が「景況は全国で回復している」と判断した（10月25日）ように、流通業も今年の年末商戦は久しぶりに収益改善の期待が大きい。

今冬のボーナス支給額も景気の回復に伴い話題となっているが、経団連の第一次集計による平均支給額（従業員500人以上の大企業）は九一万六三九六円という。このなかで製造業は九一万一九〇七円、非製造業は六六万七八五八円である。そして食品のボーナスは九一万六二五四円で前年比4・40%増えており注目される。

今は働くところの不安は無い、それなりに収入はある。働く主婦も増えた。安定した暮らしとなれば、誰でもワンランク上の美味しいものが食べたい―などど、食に関するニーズは高まるばかりである。これに応えて景気の良い年末の消費を吸収したい。

（大橋隆士）

真誠 竹本油脂 業務提携強化
購買や調達、物流など

真誠と竹本油脂は、業務提携を強化することで合意した。

食品ごまを製造販売する真誠と、ごま油製造販売事業を展開する竹本油脂は、これまで販売に関して業務提携の関係にあったが、昨今の市場変化に対応していくため、購買や調達、物流面においても包括的に業務提携を強化していく。

両社の得意分野、経営資源を利用し、販売、購買・調達、物流業務の協働体制を構築していくことにより、原料調達から生産・販売の最適化、及び新規顧客の開拓と既存顧客に対する販売を相互に補完し、新たな市場の創生互いのシェア拡大・事業の効率化を追求していく。

具体的な内容として販売面については、両社製品の協力販売（家庭用ごま油製品、業務用食品ごま製品）販売促進活動の連携。購買・調達面では、ごま原料・包装資材の共同購買。物流面では、相互の物流拠点の利用、共同配送の導入検討。

中食連中罐協主催
平成30年新年賀詞交歓会
1月5日開催

中部食料品問屋連盟（永津邦彦会長）、中部罐詰製造協会（三輪克信会長）主催、中部飲食料新聞社後援の「平成30年 新年賀詞交歓会」を18年1月5日（金曜日）、12時30分から13時30分に名古屋市中区錦1丁目・名古屋観光ホテルにて開催する。

会費は、食品関連企業（中部食料品問屋連盟正会員・賛助会員および中部罐詰製造協会会員を除く）参加者は1名につき一万二千円。

申込みは事務局が発信するEメール記載のWebページに社名・役職名・部課名・氏名を明記し送信するとともに、会費を【三菱東京UFJ銀行柳橋支店・中部食料品問屋連盟・普通預金No.65・844】にお振込みください。不明の際の問い合わせ先は〒事務局電話052―571―7116

雲海酒造株式会社
www.unkai.co.jp
お酒は20歳になってから。飲酒運転は絶対にやめましょう。
お酒は楽しく適量を。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。

香の香りが、たまらない。
黒の中のくろ。コツルのくろ。
芋焼酎 薩摩 小鶴くろ
小正醸造株式会社 〒895-2101 鹿児島県さつま町虎居1613 TEL 0996-53-1111 FAX 0996-53-5080 http://www.komasa.co.jp/
お酒は20歳を過ぎてから。適度のお酒をお楽しみください。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与える恐れがあります。